

平成26年度鳥取県営企業会計  
決算概要説明資料

企業局



## 平成26年度電気事業会計決算概要

### (1) 概要

○年間販売電力量は、太陽光発電所（鳥取放牧場、鳥取空港、竹内西緑地）の新規運転開始に加え、水力発電電力量の増加等により前年度比9.3%増の約18万2千MWhとなった。また、事業収益は、発電電力量の増加に伴う営業収益の増加や特別利益の計上などもあり、前年度比2億4700万円増の19億8300万円となった。

○一方、事業費用は既存水力発電所の修繕費や新規発電所の運用開始に伴う減価償却費等により1億2700万円増加となったが、純利益は事業収益の大幅増加により前年度比1億2000万円増の3億6500万円となった。

### (2) 収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位：百万円)

区 分	26年度	25年度	差 引	備 考																				
① 収益	1,983	1,736	247	<div style="font-size: small;"> <b>【売電電力量及び単価等】</b>  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 20%;">売電電力量 (MWh)</th> <th style="width: 15%;">目標達成率 (%)</th> <th style="width: 15%;">単価 (円/kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水力発電 (9箇所)</td> <td style="text-align: right;">175,841 (181,471)</td> <td style="text-align: right;">106.3 (98.0)</td> <td style="text-align: right;">9.08 (FIT適用以外 ※1)</td> </tr> <tr> <td>風力発電 (1箇所)</td> <td style="text-align: right;">4,669 (4,545)</td> <td style="text-align: right;">99.4 (96.8)</td> <td style="text-align: right;">19.08</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電 (8箇所)</td> <td style="text-align: right;">1,408 (430)</td> <td style="text-align: right;">111.9 (104.8)</td> <td style="text-align: right;">36~40 ※2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">181,918 (186,446)</td> <td style="text-align: right;">109.3 (98.0)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>( )内は昨年度実績等            ※1 FIT適用発電所の単価は次のとおり            加地：18.96、袋川：20.91、賀祥：29.00            ※2 FIT単価(H24年度：40 H25年度：36)</p> </div>	区分	売電電力量 (MWh)	目標達成率 (%)	単価 (円/kWh)	水力発電 (9箇所)	175,841 (181,471)	106.3 (98.0)	9.08 (FIT適用以外 ※1)	風力発電 (1箇所)	4,669 (4,545)	99.4 (96.8)	19.08	太陽光発電 (8箇所)	1,408 (430)	111.9 (104.8)	36~40 ※2	合計	181,918 (186,446)	109.3 (98.0)	
区分	売電電力量 (MWh)	目標達成率 (%)	単価 (円/kWh)																					
水力発電 (9箇所)	175,841 (181,471)	106.3 (98.0)	9.08 (FIT適用以外 ※1)																					
風力発電 (1箇所)	4,669 (4,545)	99.4 (96.8)	19.08																					
太陽光発電 (8箇所)	1,408 (430)	111.9 (104.8)	36~40 ※2																					
合計	181,918 (186,446)	109.3 (98.0)																						
営業収益	1,813	1,708	105																					
電力料	1,813	1,708	105																					
水力発電電力料	1,669	1,604	65																					
風力発電電力料	89	87	2																					
太陽光発電電力料	55	17	38																					
営業雑収益	0	0	0																					
営業外収益	92	28	64																					
小計①(経常収益)	1,905	1,736	169																					
特別利益	78	0	78																					
② 費用	1,618	1,491	127																					
営業費用	1,445	1,367	78																					
水力発電費等	1,349	1,247	102																					
風力発電費	71	117	△46																					
太陽光発電費	25	3	22																					
営業外費用	136	124	12																					
小計②(経常費用)	1,581	1,491	90																					
特別損失	37	0	37																					
③ 当年度純損益(①-②)	365	245	120																					
その他の未処分利益剰余金変動額	245	-	245																					
当年度未処分利益剰余金	610	245	365																					

○当年度未処分利益剰余金610百万円のうち、245百万円を資本金に組み入れ、365百万円を減価積立金に積み立てる。

### (3) 資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位：百万円)

区 分	26年度	25年度	差 引	備 考
① 資本的収入	2,627	385	2,242	
企業債	2,625	385	2,240	新規発電所建設に係る企業債借入金の増
固定資産売却代金	2	0	2	
雑収入	0	0	0	
② 資本的支出	2,885	807	2,078	
建設改良費	2,516	416	2,100	新規発電所建設に係る工事費の増
企業債償還金	369	391	△22	既存発電所に係る企業債償還完了分の減
差引(①-②)	△258	△422	164	

実質資金収支	230	330	△100	3,4条収支合計に減価償却費等非資金収支を加えた額
--------	-----	-----	------	---------------------------

○主な建設工事(消費税抜き)

鳥取放牧場太陽光発電所建設工事	(60百万円)
竹内西緑地太陽光発電所建設工事	(643百万円)
鳥取空港太陽光発電所建設工事	(813百万円)
天神浄化センター太陽光発電所建設工事	(709百万円)

※上記金額はH26年度の完成払い

### (4) 借入金の状況(企業債)

前年度未残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度未償還残高
3,390	2,625	369	5,646

(注) 建設改良費の充当財源として借入

# 平成26年度工業用水道事業会計決算概要

## (1) 概要

○契約水量は、鳥取地区の一部ユーザーで減量があったものの、日野川、鳥取地区で3社に新規給水を開始したことから、前年度比0.3%増の36,100 (m<sup>3</sup>/日)となった。また、事業収益は、会計制度改正に伴う営業外収益(「みなし償却制度」廃止による長期前受金戻入)の増加などにより、前年度比28百万円増の5億24百万円となった。

○一方、事業費用は会計制度改正に伴う減価償却費の増加(主に「みなし償却制度」廃止による)などにより増加したことから、純損失は前年度比33百万円増の1億91百万円となった。

## (2) 収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位：百万円)

区 分	26年度	25年度	差 引	備 考
①収益	524	496	28	【契約給水量及び単価等】
				区 分
				契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
				契約企業数
				年間給水量 (千m <sup>3</sup> )
				単価 (円/m <sup>3</sup> )
				既設：20 石州府：50
営業収益	381	391	△10	日野川工業用水道 30,300 (29,900)
				鳥取地区工業用水道 5,800 (6,100)
				合 計 36,100 (36,000)
給水収益	381	391	△10	96 (93)
営業外収益	140	24	116	8,064 (8,064)
特別利益	3	81	△78	( )内は昨年度実績等、単価は昨年度と同額
②費用	715	654	61	会計制度改正(「みなし償却制度」の廃止)に伴う長期前受金戻入額の増
営業費用	578	509	69	H25年度 退職給与引当金額の見直しによる
業務費等	175	223	△48	
減価償却費	403	286	117	会計制度改正(「みなし償却制度」の廃止)に伴う減価償却費の増
営業外費用	136	145	△9	企業償還利息の減
特別損失	1	0	1	
当年度純損益(①-②)	△191	△158	△33	
前年度繰越欠損金	2,303	2,159	144	会計制度移行処理によりH25年度末の未処理欠損金(2,317)と一致しない
当年度未処理欠損金	2,494	2,317	177	

## (3) 資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位：百万円)

区 分	26年度	25年度	差 引	備 考
①資本的収入	258	249	9	
企業債	29	29	0	
出資金	229	220	9	一般会計からの鳥取工水への出資金
建設助成金	0	0	0	
②資本的支出	435	431	4	
建設改良費	27	37	△10	新規ユーザー配管の設置費、既設設備の改良費
企業債償還金	408	394	14	
差引(①-②)	△177	△182	5	

実質資金収支	△105	△81	△24	3.4条収支合計に減価償却費等非資金収支を加えた額
--------	------	-----	-----	---------------------------

○主な建設改良工事(消費税抜)

日野川工業用水道事業のうち25号配水管等布設工事 (9百万円)

## (4) 借入金等の状況

### ○企業債

(単位：百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
日野川	2,173	14	179	2,008
鳥取地区	4,433	15	229	4,219
計	6,606	29	408	6,227

(注) 建設改良費の充当財源として借入

### ○一般会計長期借入金

(単位：百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
日野川	682	0	0	682

(注) 石州府への給水事業に伴う収益的収支の資金不足分を借入(H7年度～H17年度)

### ○一般会計出資金

(単位：百万円)

	前年度末繰入累計	当年度繰入額	当年度末累計額
鳥取地区	2,098	229	2,327

(注) 企業債の元金償還金相当額について出資金を繰入(H11年度～)

## 平成26年度埋立事業会計決算概要

### (1)概要

○新規に土地の分譲、長期貸付が各1件あったものの、特別利益（崎津工業団地移管による債務免除益 約35億円）が減少したことから、事業収益は前年度比34億12百万円減の1億75百万円となった。

○一方、事業費用も会計制度改正に伴う竹内工業団地の一時的な評価損（特別損失約52億円）の発生により17億65百万円増加したことから、純損失（欠損金）は51億58百万円（経常損益では80百万円の利益）となった。

### (2)収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	26年度	25年度	差 引	備 考
①収 益	175	3,587	△ 3,412	
営業収益	162	111	51	
土地売却収益	76	26	50	土地の一括分譲による増(昭和:1社)
その他営業収益	86	85	1	長期貸付料(竹内:8社 旗ヶ崎:2社(うち新規1社))
営業外収益	13	9	4	土地の一時貸付料の増
特別利益	0	3,467	△ 3,467	H25年度崎津工業団地の一般会計移管による債務免除
②費 用	5,333	3,568	1,765	
営業費用	94	72	22	
土地売却原価	51	33	18	土地の一括分譲による増(昭和:1社)
一般管理費等	43	39	4	土地管理経費等の増
営業外費用	1	1	0	
特別損失	5,238	3,495	1,743	H26年度竹内工業団地土地の評価損
当年度純損益(①-②)	△ 5,158	19	△ 5,177	

### (3)資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	26年度	25年度	差 引	備 考
①資本的収入	0	0	0	
②資本的支出	49	70	△ 21	
建設改良費	0	0	0	
他会計借入金償還金	49	70	△ 21	一般会計長期借入金償還金(竹内分)
差引(①-②)	△ 49	△ 70	21	

実質資金収支	90	10	80	3,4条収支合計に売却原価等非資金収支を加えた額
--------	----	----	----	--------------------------

### (4)借入金の状況

○一般会計長期借入金

(単位:百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度返済額	当年度末残高
竹 内	4,056	0	49	4,007

(注1) 竹内は土地造成のための借入、崎津は工業団地取得のための借入

### (5)分譲状況

平成27年3月末現在(単位:ha)

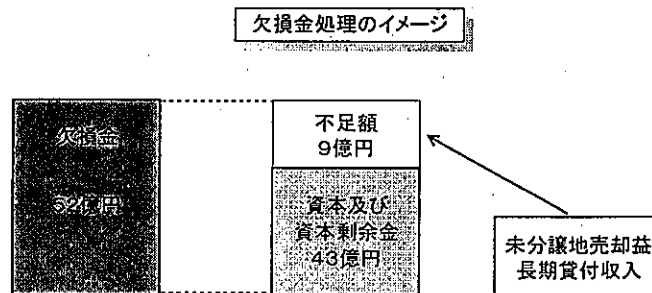
工業団地名	造成面積	売却面積	長期貸付面積	未分譲面積	うち工業団地	分譲率
昭 和	153.8	152.8	0.0	1.0	1.0	99.3%
竹 内	128.6	97.8	12.6	18.2	15.3	85.8%
旗ヶ崎	41.9	40.2	1.1	0.6	0.6	98.6%

<参考>

埋立事業会計の欠損金52億円の処理について

○欠損金は、今後の未分譲地の売却や長期貸付収入により徐々に解消される見通しであるが、解消できない欠損金については、資本及び資本剰余金の約43億円を充てて解消する見通しである。

○なお、欠損金は現金支出を伴わない費用であり、資金不足の発生はなく事業継続する上で支障はない（新たな借入金等は不要）。



※ 会計制度改正に伴う欠損金

平成26年度の会計制度の改正（低価法の導入）により、工業団地販売用土地の帳簿価格又は取得価格のいずれか低い価格の採用が義務づけられ、竹内工業団地において一時的な評価損（約52億円）が発生した。（昭和、旗ヶ崎の両団地は評価損の発生なし）

